

平成28年度 不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上	・ 公務外非行防止、職員行動指針の周知・徹底。	毎月の点検チェックリストに法令遵守の向上に関する項目をいれ意識の向上を図った。1月には外部講師による服務とは何か、民間企業と公務員の違いを具体的な事例から学んだ。教育公務員としての法令遵守の意識の向上に努めた。
② わいせつ・セクハラ行為の防止	・ 相手の人格を尊重した指導を行う。	セクハラ点検シートを全職員に配布し各自がチェックし、朝の打合せ、職員会議において全体で共有した。職員一人ひとりに人権の観点から、わいせつ・セクハラ防止の必要性を認識させ、何かあれば報告・相談ができる職場環境の構築に努めた。
③ 体罰、不適切な指導の防止	・ 人権尊重に根付いた指導を行う。 ・ 児童生徒の実態にあった指導を徹底する。	8月の人権研修では、教員が児童生徒の意思を受け止める工夫と、児童生徒の実態にあった指導の工夫の重要性を認識した。体罰、不適切な指導があれば報告・相談ができる職場環境の構築に努めた。
④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係わる事故防止	・ 電子データ及び紙ベースの適正な管理を行う。 ・ 複数による相互チェック体制を構築する。	個人情報を含む電子データの取り扱いについて、年度当初に新転任者に研修を実施した。紙ベースの情報においては、個別教育計画、進路関係文書など、記載内容、保管管理、相互チェック体制を構築した。
⑤ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	・ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策を徹底し、事故防止を図る。	7月に情報セキュリティに関する校内研修を実施した。神奈川県情報セキュリティポリシーを確認し、対策重要度分類表から、学校のサーバーに保存できるものを改めて認識した。年度始め、年度末に教職員の個人情報登録状況の確認を行った。
⑥ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	・ 法令遵守と安全運転の実施で交通違反や事故のない職場を目指す。	交通事故の事例を基に全職員に配布し、各自がチェックし、朝の打合せ、職員会議において全体で共有した。毎月の点検チェックリストに交通事故防止、に関する項目を入れ、意識の向上を図った。
⑦ 務執行体制の確保等	・ 情報共有、相互チェック体制、業務協力体制の構築により、不祥事を未然に防止する。	連絡帳、配布物等ダブルチェックを行い、誤配布を防いだ。文書保管等の規則に基づいて誤破棄を防いだ。起案行為については、管理職が起案文書を閲覧し必要に応じて指導助言を行い、理解推進を図った。

⑧会計事務等の 適正執行	・公費、私費会計等 に関する事故を未 然に防止する。	私費会計の手引きをもとに、4月に私費会計担当 者に、会計事務処理研修会を実施し、会計処理の理 解を進め、事故防止を図った。会計フォルダを私費 会計担当者と所轄グループリーダーが年間4回点検 し、適正な会計処理を行った。
-----------------	----------------------------------	---

○ 平成28年度不祥事ゼロプログラムの達成状況と平成29年度に取り組むべき課題

以上のように平成28年度不祥事防止ゼロプログラムは概ね達成できた。平成29年度は、教育公務員としての、法令遵守に留まらず、人権に根ざした指導の工夫などコンプライアンスの向上を目指す。